

成人式



1月12日、新成人412名(男223名・女189名)の門出を祝し、総合センターで成人式が開催されました。当日は対象者の約7割280名が会場を訪れ、久しぶりの再会に会場はにぎやかでした。

式典のあとの記念事業では、小中学校の恩師の方々、伊奈学園応援団から、お祝いの言葉やエールが贈られ、会場はとても盛り上がりました。



関口 友隆
(南本)

「成人？」 法律上の権利・義務などの観点から見て社会の一員とされる大人のこと。

つい最近までは、自分はまだ子どもだと思っていましたが、成人式を迎えて、大人の一員として考えさせられるきっかけとなりました。

これからは、大人としての自覚、責任を持って努力いたします。

成人式を迎えて、両親をはじめ、お世話になった先生方、地域の皆様に感謝の気持ちを忘れません。そして、これからの人生を一日一日大事に生き、実りのある生活にしていきたいと思っています。



馬場さやか
(丸山)

本日、晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。また、今日までお世話になった、両親をはじめ、先生方、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

幼いころは、遠い先のことに感じていた成人式があったという間に来てしまい、人生とは長いようで短いものだと思感しています。

だからこそ、この先何も変わらないのは意味がないと思うので、自分なりに日々精進する気持ちを持って、伊奈中魂を忘れずに、二十歳という重さを感じて責任ある行動をしていきたいと思っています。



齋藤 直孝
(小針新宿)

私もついに二十歳を迎え、時が経つのは本当に早いということを実感しています。私は今まで沢山の人と出会ってきました。苦しいときに助け合える友と出会い、同じ目標に向かって共に汗を流せる仲間もできました。また、私のことを真剣に考えてくれる恩師の方々にも巡り合い、周りにはいつでも相談のつてくれる家族がいました。人間には人との繋がりが必要不可欠だと思えます。多くの人を支え、多くの人に支えられてきたからこそ今の自分があることを忘れてはいけません。今まで私を支えてきてくれたすべての方々に心から感謝しています。





本日、晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。しかし、世界には様々な理由で大人になれなかった子どもたちがたくさんいます。

今の私たちは、何不自由なく平穩に暮らすことができず。そのため、あまりにも当然のように毎日を生きてきて、自分がどれだけの偶然と愛情の下でここまで来れたかに、気付かずにいた気がします。

人生の節目であるこの日、私は改めて、今ここに生きていることの喜びと同時に、私を支えてくれた両親や友達や多くの方々への深い感謝の意を述べたいと思います。



小澤 貴子
(光ヶ丘)

本日、成人式を迎えることができたのも、両親をはじめ多くの方々の暖かい支えがあったお蔭であると深く感謝しています。

早いものでこの世に生を受けてから二十一年が過ぎましたが、これまでの人生を振り返ると、責任ある行動を取ってきたか疑問が残ります。

これからは、選挙権がある、お酒が飲めるというだけでなく、先の人生を考え、大人としての自覚と責任を持ち、一期一会を大切に邁進していきたいと思います。



齋藤 誠
(栄北)

本日、晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。それと同時に、これまで私を支えてくださった両親や家族をはじめ、多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。

小・中学校の同級生と久々の再会を果たしてみると、昔と何ら変わりのない雰囲気の中にも「成人」という大人の一面も覗かせていました。

私自身はまだまだ精神的幼さが抜けていないのが現状ですが、今日の成人式を機に立派な社会の一員になれるよう、夢に向かって一歩ずつ着実に歩んでいきたいと思っています。



高橋久美子
(栄北)